

災害発生時の安全活動方針

2016年4月22日

一般社団法人 日本半導体製造装置協会

背景

- 中越地震 2004年10月
- 東日本大震災 2011年3月
- 中国 半導体工場火災 2013年9月
- 韓国 半導体工場窒素中毒 2015年4月
- 熊本大地震 2016年4月

目的

- 災害発生時、人命を第一に優先し、安全を確保するための活動方針を策定する
- 会員企業、顧客が安全判断基準を共有する
- 災害発生時の際に、安全に活動するため、必要な情報をSEAJが集約し発信する

活動

- “災害発生時の活動基準”（ガイドライン、チェックリスト）の策定
- “災害発生時の活動基準”の各国団体、顧客上層部への理解、協力の推進
- 必要な災害復旧情報の確認、集約、発信

運用

- 災害発生後のクリーンルーム内入室作業に関するガイドライン（以下ガイドライン）及び災害発生後のクリーンルーム内作業事前チェックリスト（以下チェックリスト）の運用を以下に記す
 1. 各社の現場責任者は災害発生後、顧客責任者と共にガイドライン、チェックリストの内容確認を行い、これらに基づき作業することを合意する
 2. 不測の事態の発生や顧客の合意が得られない場合は、各社の現場責任者の判断に依る
 3. 情報および伝達経路を確認する